衛星EPIRB

衛星非常位置指示無線標識

Emergency Position Indicating Radio Beacon

JQE-103

GMDSS適合・自動離脱装置付き

- 406MHz、121.5MHzの二周波対応
- 小型、軽量化による容易な装備
- シンプルな構造と簡単なメンテナンス
- 耐錆、耐劣化構造
- 風、振動等に強いフレキシブルアンテナを採用
- MED・HK型式承認品

JRC 日本無線

JQE-103

一般仕様

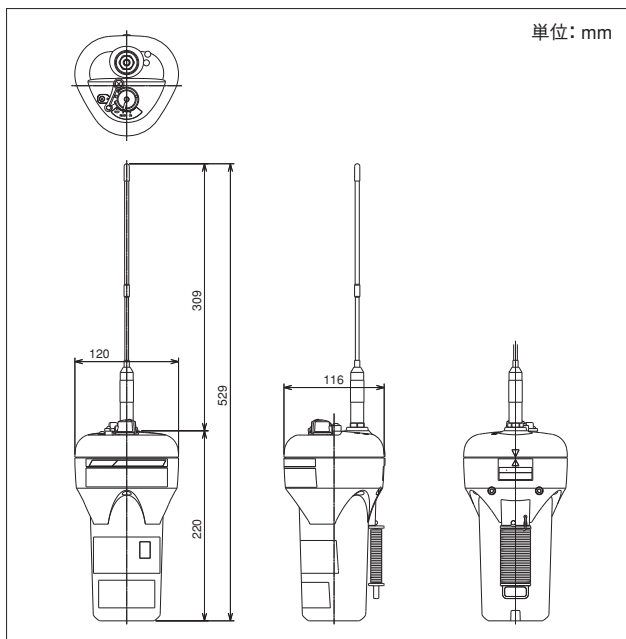
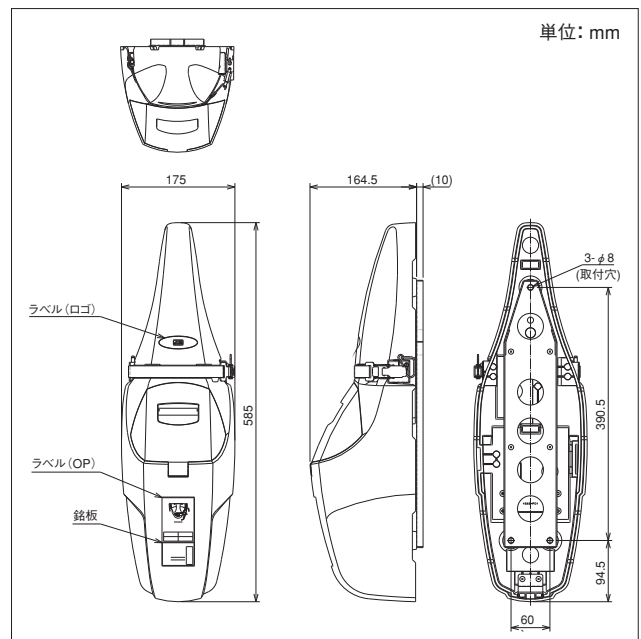
空中線	
・パターン	直線偏波
・VSWR	1.5以下
・インピーダンス	50Ω
電池	
・タイプ	パック式　二酸化マンガンリチウム電池
・公称電圧	8.4V（有効期限5年）
水圧センサー	Hammar製（有効期限2年）
始動方式	自動　または　手動
停止方法	セレクトスイッチ（ロータリースイッチ）を「READY」位置にして、水についている場合は水から取り出す
連続動作時間	48時間以上
使用温度範囲	-20℃～+55℃
保存温度範囲	-30℃～+70℃
本体寸法	高さ529mm×幅120mm×奥行116mm
本体質量	約1.3kg
自動離脱装置寸法	高さ585mm×幅175mm×奥行175mm
自動離脱装置質量	約2.9kg

406.028MHz送信機の仕様

送信周波数	406.028MHz±2kHz以内
周波数安定度	
・短期安定度	2×10^{-9}／100msec以下
・中期安定度	
平均傾斜	±1×10^{-9}／min以下
ばらつき	3×10^{-9}以下
空中線電力	5W±2dB以内
変調度	位相変調　±1.1±0.1ラジアン以内
符号形式	Bφ-L
送信繰返し周期	50秒±5%以内（ランダム）
送信時間	440msec±1%以内
変調速度	400bps±1%以内

121.5MHz送信機の仕様

送信周波数	121.5MHz±6.075kHz以内
尖頭輻射電力	50mW±3dB以内
変調方式	AM
変調周波数	300Hz～1600Hzスウィープ
変調繰返し周期	2Hz～4Hz

本体外観寸法

自動離脱装置外観寸法

※外観・仕様などは、予告なく変更することがあります。

⚠注意　正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

製造元：太洋無線株式会社

JRC 日本無線株式會社
JRCウェブサイト　http://www.jrc.co.jp/
本社事務所　〒167-8540 東京都杉並区荻窪4-30-16　藤澤ビル
海上機器営業部　☎(03)6832-1807（ダイヤルイン）

北海道支社　〒060-0003 札幌市中央区北3条西7-1　北海道水産ビル　☎(011)261-8339（直通）
東北支社　〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-4-1　アゼリアヒルズ16F　☎(022)781-6173（直通）
中部支社　〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-25　清風ビル　☎(052)959-5901（業務課）
関西支社　〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-28　☎(06)6344-1633（直通）
九州支社　〒812-0025 福岡市博多区店屋町1-31　博多アーバンスクエア　☎(092)262-2141（直通）
三鷹製作所　〒181-8510 東京都三鷹市下連雀5-1-1　☎(0422)45-9111（案内）
稚内　釧路　帯広　函館　青森　八戸　秋田　盛岡　福島　新潟　長野
埼玉　神奈川　静岡　焼津　金沢　福井　岐阜　三重　神戸　松江　広島　山口　高松
高知　徳島　愛媛　長崎　佐賀　大分　熊本　宮崎　鹿児島　那覇　シアトル　ニューヨーク
アムステルダム　アテネ　ハンブルグ　マニラ　シンガポール　上海　台北　ハノイ　ジャカルタ

38JM　ISO9001, ISO14001 認証取得
2012年2月作成　© 2006.3　CAT.No.A217（No.649-4-2）D